

# アカデミーかわら版



2014年度後期講座が始まりました。

世話人の皆さん、よろしくお願いします。



いよいよ2014年度後期講座が始まりました。早いところは9月の下旬から始まっています。かわさき市民アカデミーの講座運営は世話人の皆さんの協力がなくては成立しません。各講座とも始まる前から世話人の皆さんに色々な仕事をして頂いています。イラストで仕事のほんの一部をまとめてみました。その他に書き切れないくらい多岐にわたる諸事をやって頂いています。世話人の皆さんは講座終了まで気の抜けない日々とは思いますがどうぞよろしくお願いします。

世話人として講座の企画や運営をしたり、講師との懇親会や打ち上げに参加する楽しみもあります。興味のある方、各講座の世話人に声をかけてみてください。

受講生の意見・  
感想の収集



コーディネーターとの  
打ち合わせ



講座担当の講師との  
事前連絡



資料の印刷



受付、資料配付



講座前事務連絡



野外活動のサポート



講座開始前の下見・準備



機材の搬入、セッティング



Q  
&  
A

質問：パンフレットが「募集案内」と「講座の案内」の2種類になりましたね。カラーになり写真も増えてきれいになったけれど、経費は大丈夫ですか？

お答えします：前回お知らせしたように、18万部の「募集案内」と1万部の「講座の案内」の2本立てに変わりました。部数の多い「募集案内」がシンプルになって経費を節約出来たので、トータルではかなりの経費減になりました。





# フェスタ'14

2014年11月15日(土)、16日(日)

メイン会場：川崎市生涯学習プラザ

\*野外講座：11月4日(火)、11月7日(金)

\*高津・新百合・ミューザ川崎会場で  
オープン講座開催

講演・展示・子ども理科実験・喫茶・  
コンサート・フリーマーケット  
15日・16日開催(雨天中止)  
・古本市を開催します  
どなたでも自由に参加できます

## 求む！古本

新書本、文庫本、ハードカバー本、絵本、  
子供の本、実用書等々ジャンルを問いませ  
ん。(但し、百科事典は除く)

\*1冊でも、2冊でも・・・ご自宅に眠っ  
ている本がありましたらご寄附ください。

\*量が多く運搬が難しいという方は、  
ご相談下さい。

## スタッフ募集！

フェスタでご協力いただける方、  
半日、1日だけでも大歓迎

15日(土)、16日(日)

詳しくはパンフレットをご覧ください。

申込み・問合せ先：

フェスタ実行委員会事務局  
大宮司まで

## 理事会報告

2014年度 第4回(8月)理事会  
8月18日(月) 15時30分～

## チェックポイント

報告事項：18件 審議事項：5件

### ◎主な報告事項

- ・14年度後期受講申込状況について
- ・14年度前期決算見込について
- ・学長・副学長会議の報告について
- ・安全委員会の報告について
- ・地域連携部会の報告について
- ・フェスタ実行委員会の報告について



### ◎主な審議事項

- ・野外学習で不測の事態が発生した場合の対応マニュアルについて
- ・ノベルティグッズについて
- ・14年度後期講座担当役員の委嘱について

▼今回は、NPO法人の実務に係る役員・職員研修が午後の早い時間に行なわれ、一呼吸した後に開催されました。

▼報告事項としては、14年度後期の募集状況や前期の決算見込みなど、上半期の終了に近い時期ならではの項目が並びました。中期経営計画に基づいて今年度から出発した地域連携部会からの報告もありました。

▼審議事項では、人命に係る最重要項目である野外学習時の対応マニュアルや、今年度からの新しい取り組みとしてのアカデミーノベルティグッズの制作について活発な議論がなされ承認されました。昨年度は20周年記念グッズが制作されましたが、今回は日常性を重視したグッズができあがりそうで、楽しみなところ です。

## 特別講座 「集団的自衛権—何が起こったのか、何が起こるのか」

9月12日、19日、26日の3回にわたって開催された特別講座の感想を受講生の方に纏めて頂きました。

### 第1回 「憲法学の視点から」

早稲田大学教授 長谷部 恭男

憲法学の専門家の視点から長谷部教授より、①集団的自衛権は憲法解釈上で認められていない、②憲法改正によらない、閣議決定での憲法の解釈変更は立憲主義への攻撃である、③従来、法案策定のチェック機能を果たすはずの内閣法制局がその任務を放棄してしまった、との指摘があり、集団的自衛権の閣議決定及びそのプロセスの深く、重い意味を理解する上で大きな助けとなりました。この決定により、政府独自の憲法解釈で自国民保護を大義とした他国への武力行使が可能となり、「歯止めを失った先には徴兵制も」と考えると恐しさを感じます。メディアを通して得た知識だけでは気づかなかった側面の理解につながる講座で、大いに勉強になりました。

特別講座第1回 受講者 林 伸夫

### 第2回 「東アジアの国際秩序の危機」

成蹊大学教授 遠藤 誠治

この4年程、養母の介護と雑用に追われ『国際関係』の勉強から遠ざかっていました。しかし、前国会での集団的自衛権解釈変更論議と東アジアの政治情勢に関心を持たざるを得ませんでした。特に、グローバルに難問が散在する中、我が国と東アジア3か国の異常な状態は全く残念なことです。こんな状況下、集団的自衛権をどう考えるべきなのか、遠藤誠治先生から課題の整理とその趣旨解説を頂きました。国際法・国連憲章、憲法9条の理念の遵守と対話による相互理解を深める必要性が述べられました。今後の集団的自衛権論議を注目したいと思います。

歴史（川崎学） 青山 守

### 第3回 「メディアはこれからどうする？」

ジャーナリスト 柴田 鉄治

最近のメディア状況について疑問を感じる点もあったので、ぜひお話を伺いたいと思い参加しました。

「柳条湖事件が日本軍の謀略であったことは今、明らかになっているが、当時国民は新聞に書かれたことを信じて戦争に突き進んでいった。うすうす真実を知りながらも政府のお先棒を担いで、真実を知らせる努力をしなかったメディアはこの時死んだのだ。戦後再出発を誓ったのに、再び新聞の論調は、戦争の醜さをきちんと報道することもしていないし、司法のチェック機能が働くようチェックすることもしていない。メディアは読者の支持に依拠している。だから読者は再びメディアが死なないように監視していく必要がある」というお話に、自身の責任を強く感じました。

受講者 金井 紀久子

## 事務局コーナー

金銭ならぬだじゃれのカンパで  
事務所に寒波をもたらしています。



ある朝の出勤の様子です。外来種の台頭により「タマゾン川」とも呼ばれるようになった多摩川を、通勤ラッシュとは逆流でいつも空いている東急目黒線で渡りつつ、ブルーシート建屋群と川の向こうの田園調布高級住宅群という社会の縮図のような丸子橋付近の風景を毎日眺めて出勤する人々は何を思うのであろうかなどと若干「ブルー」になりながら考えていると、成長いちじるしく人の影が「濃すぎ」る武蔵小杉駅に着きます。

共学化が近づいている法大二中高男子学生の言い「放題」の青春話に包まれながら歩きニヶ領用水に達すれば、共学である県立住吉高校生徒の自転車群の歓迎を受け「驚愕」します。いま一度気をひきしめて「今井」商店街を元住吉方面に向かい、ようやく職場に辿り着きます。職場では経理を主に担当していますが、一方で自称園芸係。受講生からいただいた、あるいは教材に用いた植物を育て、職場の環境とみどりづくりに貢献しようとしています。実際はかなりの植物を枯らしており「ショックば」かりで反省の日々です。

ところでアカデミーについてですが、ここは「～かもしれない」があちこちにあるような学びの場だと思います。ある先生は、研究は大学に限定されるべきでないし学習はある年齢で終わるものではないのだから正規の大学だけが知を代表していると言いきれるものではないのではと考えるかもしれません。ある市民・受講生は、アカデミーのような社会的企業に参画することで、協同・共生の経済という今まで係わってきた業界とは異なる新たな道があるのではと考えるかもしれません。また、ある市民・受講生は、ネット社会とはいえ地方には学習環境にめぐまれない人がたくさんいるわけであり、首都圏の川崎で学習できること自体が幸せなのではと考えるかもしれません。そして事務職員はアカデミーに係る人々は「～かもしれない」を日々量産しているのではと考えるかもしれません。まとまりのない文章でした。

総務第2係 西山 拓

## アカデミー予定表 2014.10.6現在

### 2014年10月予定表

日	曜日	行事予定
6	月	かわら版10月号配布開始
21	火	理事会
27	月	オープン講座 美術Ⅰ・日本の伝統芸能 高津市民館
29	水	オープン講座 政治・社会 生涯学習プラザ

### 2014年11月予定表

日	曜日	行事予定
4	火	かわら版11月号配布開始予定
4	火	野外講座 東京駅散策と江戸の食事
7	金	野外講座 黒川、よこやまの道を歩く
10	月	オープン講座 いのちの科学 生涯学習プラザ
12	水	オープン講座 音楽Ⅲ ミューザ川崎
13	木	オープン講座 音楽Ⅱ 新百合21
14	金	オープン講座 美術Ⅱ・エクセレントⅡ 新百合21
15	土	フェスタ'14
16	日	

## 〈編集後記〉

◆長い夏休み、皆様いかがお過ごしだったでしょうか。夏休み前の『STAP細胞騒動を考える』も今回の特別講座も旬の話題を採り上げ、アカデミーならではの一流の講師をお迎えして充実した内容の講座でした。

◆フェスタ実行委員会は夏休み中に集まって着々と準備を進めています。スタッフ募集しますのでご協力よろしくお願ひします。

◆私は子供の頃はとても内気で控えめな性格だったので「実験をやらせて」なんてとても言えませんでした。今は「こども理科実験教室に是非参加したい」と大声で言っています。大人だって実験したいです。今期もかわら版よろしくお願ひします。(t)

発行：NPO 法人 かわさき市民アカデミー  
アカデミーかわら版編集委員会

連絡先: TEL : 044-733-5590  
メール : info@npoacademy.jp  
NPO ホームページ <http://npoacademy.jp>

